

巻頭企画

これは奇跡なのか？

フランスから来た認知症ケア
「ユマニチュード」に注目だっ。

認知症の人に“人”として接するために構築された「認知症ケア理論」と、実践するための150を超える「具体的な技術」は、認知症の人の周辺症状を軽減するばかりでなく、ケアする人にやりがいと感動をもたらします。研修の日本支部となっている東京医療センターで、ユマニチュードケアを実践してみた看護師さんの実感を紹介します。

特集

「処方薬依存」と「脱法ドラッグ」
が大変なことになっている

◎松本俊彦、青山久美、小林桜児

[インタビュー]

松本ハウス

(『統合失調症がやってきた』を出版したお笑いコンビ)

特別記事

安全で副作用の少ない筋肉注射の方法

◎谷岡哲也

[レポート]

保険診療停止になった病院の経験 ◎市来真彦

働きやすい病院全国1位

小倉第一病院突撃レポート ◎知識裕子

ねじ子の言うとおりにやってみた。◎川田陽子

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

編集後記

産休に入る米沢に代わり、3年ぶりに雑誌を作る目線で見守る中、取材に向かった日精看大会(仙台)。見るもの聞くものに感動しているうちに躁鬱してしまい、やたらめったら発表者に声を掛けまくり……で、生まれたのが本誌巻頭企画です。夜の仙台の街では、勢いで真っ赤な服まで買ってしまい、躁鬱エピソード満載でした。あは。／それにしても発表を聞いて、「現場はいいな」と思えた自分が嬉しかったです。研究をするためには、あれが足りないこれがいらないと、いろんな指導が入ると聞いていますが、現場の実践の尊さ、患者さんのために何かをやろうとした思いは、決して輝きを失わないですよ。私は現場を応援します。／1月号からは、「2ページあげます」「まさびよんのOTプログラム」「カー吉」「ロックでいぐ地域活動センター」「患者さんの身体でこんなことが起きている」など、新連載が続々と。新進気鋭のイケメン哲学者の連載も。／しかしこんなふうには大風呂敷を広げるあたりも、読者の皆さんにはますます躁の患者さんにしか見えませんよねえ。…石川

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

精神看護 第16巻第6号 2013年11月15日発行(隔月刊) 発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2013, Printed in Japan 販売部: ☎03-3817-5659
『精神看護』編集室: ☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp
本文デザイン協力: 高見清史 (view from above) 表紙デザイン: デザインワークショップジン 印刷・製本: 株式会社アイワード
1部定価: 1,260円(本体1,200円+税) 年間購読料(税込、送料弊社負担、年間6冊) 7,380円(冊子版) / 10,380円(冊子+電子版/個人) / 11,500円(冊子+電子版/共有) / 7,380円(電子版/個人) / 8,500円(電子版/共有)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

©COPY (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物

本書の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社) 出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。